

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1089	1089	公民館事業経費	01	01	一般会計
			10	10	教育費
33	33	だれもが生きがいを有する機会をつくる	05	05	社会教育費
			05	05	公民館費
		教育委員会 伊賀分室	102	102	公民館活動経費
		藤岡雅之	細目	01	公民館事業経費
		連絡先	細々目		
		45-9116			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	文化団体サークル及び教室参加市民	文化サークル活動を活性化及び、教室を開設することにより市民の生涯学習意欲の向上を図ることが出来、生活に潤いを与えることが出来る。					
生涯学習の場として、生涯の各時期に応じた公民館教室(7教室)を開設。文化協会41サークルの活動支援及び学習成果発表の場として、展示会を開催。							
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	社会教育法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0, 4	0, 4	0, 4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,875	2,294	2,177
委託料			
補助	1,296	1,167	1,050
報償	495	480	480
その他	84	647	647
合計(A+B)	4,755	5,174	5,057
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	4,755	5,174	5,057
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
公民館教室数	教室	7	7	7			
教室受講生数	人	127	130	130			
いがまち展示会入場者数	人	1500	1500	1500			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
受講率(教室受講生数/定員)	市民ニーズを測る指標として、定員に対する受講生数割合を指標	%	91 目標 (100)	90	90
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

一般及び子供を対象として、ニーズに基づく教室の開設に心かけているが、教室設定については、市民ニーズに沿った教室の開設が必要であり、そのためのニーズ把握が重要。1教室の受講生数については、経費効果を判断し、定員枠最大数まで募る努力をする。

評価	必要性	4	市民ニーズにより、特色ある教室を目指し、年齢層の広い幅で学習出来る機会を提供する。又、教室に多い、少ないの受講生数差が生じないよう検討を加え、学ぶことの楽しさを育んで行くことが重要と考えている。単に興味としての教室でなく、生涯学習として高齢者に欠如しがちな「生きがい」までを求められる方向付けをしていきたい。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A